

ノンファーム電源の出力抑制評価のご紹介

- 需給制約による出力抑制に加え、系統容量を必ずしも確保しないノンファーム接続が開始され、系統制約起因の出力抑制が生じうる状況となっています。
- 当社は、MRI出力抑制評価モデルに加えて系統シミュレーションモデルを用いて分析を行い、発電事業者様のファイナンス構築を支援します。

MRI レポート の強み

①電力系統工学に基づくモデル構築

ノンファーム接続や再給電方式の導入といった国内の関連制度動向を踏まえつつ、電力系統工学の深い知見に基づいたモデルを構築。

②系統情報の独自データベース

一般送配電事業者から公開されている各種系統情報を基に、電力システムの知見を基にした地点別需要・電源出力といったモデルインプットデータを整備。

MRI レポート の概要

■分析対象エリア

- ・ 北海道・東北・東京
- 他エリアについてはご要望に応じて整備

■レポート構成

MRI出力抑制レポートの内容に加え、系統シミュレーションを実施する上での前提条件を含めて全体で50ページ程度。

トラック レコード

■ 評価件数

30案件以上(2018年サービス開始)

■ 顧客

大手電力/ガス事業者、再エネ事業者、商社等

MRI レポート のお見積

■ お見積作成条件

シナリオ数やエリア数、評価対象地点の数で御見積が変動致します。

■ お問い合わせ先

(株)三菱総合研究所 エネルギー・サステナビリティ事業本部 電力システムイノベーショングループ 攝待までお気軽にお問い合わせ下さい。

電話:03-8061-9323 メール:service@mri.co.jp